

## 令和2年の八代妙見祭関連行事の中止について

ユネスコ無形文化遺産「八代妙見祭の神幸行事」は、県内はもとより、九州内外から20万人以上の来観者が見込まれる熊本県を代表する祭礼行事です。

本年度も、11月22～23日の神幸行列をはじめ関連行事を予定しておりましたが、先の豪雨で多くの方が被災され、今なお避難生活や復旧作業が続いていること、また、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、祭り関係者や観客の安全を優先すべきとの判断から、本年度の八代妙見祭の関連行事を中止することといたしました。

なお、一部の神事については、参列者数を縮小するなどの感染予防対策を講じながら実施する予定としております。

※神事については、八代神社（TEL0965-32-5350）へお問い合わせください。

### 1. 八代妙見祭保存振興会の検討経緯

4月～7月 役員会、運営連絡会議、奉納団体代表者会議にて、開催可否を検討。

8月 1日 八代神社氏子総代会にて、令和2年の八代妙見祭の祭事予定を決定。

8月 5日 奉納団体代表者会議にて、八代神社より決定事項の報告を受ける。その後、八代妙見祭関連行事の中止を承認。

同日、役員会にて、八代妙見祭関連行事の中止を承認。

8月21日 八代妙見祭関連行事の中止公表。

### 2. 今年度の取り組み

神幸行列及び関連行事は中止となりましたが、八代妙見祭の保存・継承のため、今年度も以下の取り組みを進めてまいります。

#### （1）祭礼用具等の点検、修復

ユネスコ無形文化遺産の登録を受け、世界の宝となった、格式高い八代妙見祭の神幸行事を維持し、将来に継承していくため、笠鉾や用具の点検、修復を計画的に行なっています。

現在使用されている9基の笠鉾は、江戸時代から繰り返し修復が行われ、現在まで継承されています。近年では平成4年度から11年度にかけて大規模修復を行いました。約20年が経過し、さらに修復が必要な時期となっています。このため、修復計画を立てて、笠鉾等の修復を進めています。

昨年は、笠鉾の水引幕復元新調で、「蘇鉄」が完了しました。今年は、「迦陵頻伽」（第2年次／2か年事業）、「松」（第1年次／2か年事業）を実施することとしています。

#### （2）後継者の育成

八代妙見祭の神幸行事をこれからの世代に引き継いでいくための後継者育成事業に取り組んでいく予定としています。

#### <問合せ先>

八代妙見祭保存振興会（事務取次：八代市文化振興課） TEL 070-5819-8246

八代神社 TEL 0965-32-5350